

海賊対処の第31次派遣部隊がアデン湾に向け出港

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第31次隊）出国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動のために派遣される第31次水上部隊の出国行事が8月5日（日）に開催され、部隊が乗艦する護衛艦が横須賀基地（神奈川）から出港した。

同部隊は、第1護衛隊司令（東 良子1等海佐）の指揮の下、護衛艦「いかづち」（櫻井 敦艦長）が任務にあたる。部隊は、隊員約210名並びに海上保安官8名により編成されており、現地に到着次第、先に派遣された第30次水上部隊の護衛艦「あけぼの」に替わり、護衛活動を開始する。

なお、東一等海佐は、海賊対処行動派遣部隊初の女性隊司令となる。

式典では、渡邊剛次郎横須賀地方総監が防衛大臣訓辞を代読し、山下万喜自衛艦隊司令官が訓示した。

当協会からは商船三井 加藤雅徳常務執行役員、NS ユナイテッド海運 石川寛二常務執行役員、日本郵船 後藤湖舟経営委員、川崎汽船 綾清隆執行役員ほか2名、国際船員労務協会からは赤峯会長ほか1名が出席した。日本船主協会、国際船員労務協会の両協会を代表し赤峯副会長（国船協会会長）より派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなど、新たにソマリア沖・アデン湾に赴く護衛艦の乗組員の方々に感謝の意を表した。

（海務部 大森）

出国行事



防衛大臣訓辞を代読する渡邊横須賀地方総監



訓示する山下自衛艦隊司令官



訓辞を拝聴する東隊司令（左）、櫻井艦長（右）



式典に臨席する赤峯副会長（左）と加藤常務（右）



花束を贈呈する赤峯副会長（中央）



「いかづち」に向かう隊司令



出航する「いかづち」



護衛艦を見送る両協会出席者